



2013年3月期(平成24年度)
第3四半期決算説明資料

2013年2月12日

ダイキン工業株式会社

1. 第3四半期決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3-4
2. 部門別業績・・・・・・・・・・・・・・・・ P.5-12
 - ・部門別売上高/営業利益
 - ・地域別売上高の推移 — 空調事業、化学事業
 - ・部門別業績の概況
3. 参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・ P.13-14
 - ・設備投資、減価償却費、研究開発費
 - ・Goodman社の買収について

■ 第3四半期決算概要



欧州景気の停滞、半導体市場をはじめとする化学分野での需要低迷など、厳しい事業環境が続いているが、拡販施策の遂行とコストダウンの取り組みにより、売上高・営業利益とも前年を上回った。

特別損失として投資有価証券評価損▲161億円を計上。

(第2四半期での計上額▲199億円)

(単位:億円)	3Q(10-12月)			3Q累計(4-12月)			12年度年間計画	
	11年度	12年度	前年比	11年度	12年度	前年比	11月公表	前年比
売上高	2,836	2,863	101%	9,054	9,363	103%	12,700	104%
営業利益 (利益率)	124 (4.4%)	106 (3.7%)	85%	603 (6.7%)	611 (6.5%)	101%	870 (6.9%)	107%
経常利益 (利益率)	102 (3.6%)	156 (5.5%)	153%	567 (6.3%)	627 (6.7%)	111%	820 (6.5%)	100%
四半期純利益 (利益率)	32 (1.1%)	105 (3.7%)	331%	313 (3.5%)	195 (2.1%)	62%	220 (1.7%)	53%

為替レート

1USD	¥77	¥81	—	¥79	¥80	—	¥80
1EUR	¥104	¥105	—	¥111	¥102	—	¥100

*為替影響(対前年度)

3Q(10-12月) 売上高: +50億円
営業利益: +5億円

3Q累計(4-12月) 売上高: ▲90億円
営業利益: ▲30億円

■ 部門別売上高/営業利益



空調事業は、欧州主要国やオーストラリアで需要が低迷したが、中国での拡販策の展開やアジアなど新興国での需要拡大により、増収増益。

化学事業は、日本・アジアの半導体分野の需要低迷、欧州の自動車需要の減少と在庫調整の影響を受けたことに加え、ガスを中心に市況軟化に伴う売価ダウンが大きく影響し、減収減益。

(単位: 億円)		3Q(10-12月)実績			3Q累計(4-12月)実績			12年度年間計画	
		2011年度	2012年度	前年比	2011年度	2012年度	前年比	11月公表	前年比
全社	売上高	2,836	2,863	101%	9,054	9,363	103%	12,700	104%
	営業利益 (利益率)	124 (4.4%)	106 (3.7%)	85%	603 (6.7%)	611 (6.5%)	101%	870 (6.9%)	107%
空調	売上高	2,448	2,517	103%	7,818	8,219	105%	10,950	105%
	営業利益 (利益率)	91 (3.7%)	97 (3.8%)	106%	471 (6.0%)	503 (6.1%)	107%	675 (6.2%)	112%
化学	売上高	309	266	86%	953	851	89%	1,250	94%
	営業利益 (利益率)	36 (11.8%)	12 (4.6%)	33%	135 (14.2%)	107 (12.5%)	79%	180 (14.4%)	89%
その他	売上高	79	80	102%	283	294	104%	500	113%
	営業利益 (利益率)	▲ 4 —	▲ 3 —	—	▲ 3 —	2 (0.5%)	—	15 (3.0%)	176%

■ 地域別売上高の推移-空調事業



(単位: 億円) ※左肩の数字は前年比	08年度1~3Q		09年度1~3Q		10年度1~3Q		11年度1~3Q		12年度1~3Q		12年度 3Q(10-12月)		12年度計画 (11月公表)	
	日本	103%	2,828	86%	2,443	109%	2,658	107%	2,838	108%	3,055	103%	895	108%
ヨーロッパ	87%	2,217	75%	1,665	94%	1,572	94%	1,483	88%	1,302	99%	388	89%	1,725
中国	109%	1,113	87%	974	126%	1,228	120%	1,475	109%	※1,610	95%	※495	109%	2,040
アジア	105%	781	78%	608	134%	816	104%	847	113%	956	123%	318	107%	1,200
アメリカ	100%	793	82%	646	104%	674	105%	709	107%	762	108%	253	107%	1,010
オセアニア	86%	294	99%	291	103%	300	83%	250	100%	250	96%	88	107%	360
中近東	136%	198	62%	122	106%	130	130%	169	141%	238	96%	65	147%	365
アフリカ	122%	79	72%	57	91%	52	92%	47	98%	46	106%	14	102%	70
計	99%	8,302	82%	6,806	109%	7,429	105%	7,818	105%	8,219	103%	2,517	105%	10,950
海外売上高比	66%		64%		64%		64%		63%		64%		62%	
為替レート	1USD	¥103	¥94	¥87	79円	¥80	¥81	¥80	111円	¥102	¥81	¥105	¥80	¥100
	1EUR	¥151	¥133	¥113										

※ 中国の売上高は、大金中国の決算期変更に伴い
11年3Q(1-9月)と12年3Q(4-12月)の比較
(参考)大金中国の売上高前年比(現地通貨ベース)
4-12月同期比較: 109%
10-12月同期比較: 112%

【参考】為替影響を除く実質前年比

	3Q累計	3Q期間	年間計画(11月公表)
ヨーロッパ	96%	99%	97%
中国	107%	90%	107%
アメリカ	106%	103%	106%

■ 地域別売上高の推移-化学事業



(単位:億円) ※左肩の数字は前年比	08年度1~3Q		09年度1~3Q		10年度1~3Q		11年度1~3Q		12年度1~3Q		12年度 3Q(10-12月)		12年度計画 (11月公表)	
	日本	94%	342	69%	235	145%	340	102%	348	89%	309	89%	95	91%
アメリカ	96%	212	70%	148	127%	189	108%	205	102%	210	94%	69	105%	320
アジア	104%	67	69%	46	166%	77	148%	113	67%	76	66%	24	83%	125
中国	120%	126	72%	90	147%	133	152%	201	84%	170	80%	53	92%	245
ヨーロッパ	99%	81	67%	54	130%	70	110%	77	96%	74	94%	23	104%	120
その他	731%	10	94%	9	82%	7	120%	9	122%	11	122%	3	0%	0
計	100%	837	70%	583	140%	816	117%	953	89%	851	86%	266	94%	1,250
海外売上高比		60%		61%		58%		64%		64%		64%		65%
為替レート 1USD		¥103		¥94		¥87		¥79		¥80		¥81		¥80
1EUR		¥151		¥133		¥113		¥111		¥102		¥105		¥100

【参考】為替影響を除く実質前年比

	3Q累計	3Q期間	年間計画(11月公表)
アメリカ	101%	89%	104%
中国	82%	75%	91%
ヨーロッパ	105%	95%	114%

■ 部門別業績の概況 - 国内空調



国内

- ・設備投資と建築着工の緩やかな回復基調が継続。節電需要の高まりに加え、好天の追い風もあり、業界需要は住宅用・業務用ともに前年を上回った。
- ・当社は、節電ニーズを捉えた新商品投入とシェアアップを図った。
 - 住宅用では、業界初の新冷媒(HFC32)を採用した『うるさら7』が高い省エネ性を訴求し、販売が好調に推移。
 - 業務用では、店舗・オフィス用エアコンの『Eco-ZEAS80』や、ビル用マルチエアコン『Ve-upシリーズ』など省エネ差別化商品の投入により、新規・更新需要を獲得し、販売を伸ばした。

<国内空調業界・当社出荷台数>

(千台)		上期実績	前年比	1-3Q実績	前年比	年間計画 (11月公表)	前年比
住宅用	業界	5,579	103%	6,880	103%	8,020	97%
	当社	-	111%	-	110%	-	106%
業務用	業界	434	104%	602	101%	862	104%
	当社	-	112%	-	108%	-	110%
エコキュート	業界	222	87%	333	89%	433	87%
	当社	-	80%	-	78%	-	87%

■ 部門別業績の概況 - 欧州空調



欧州 (トルコ、中近東、アフリカを含む)

- ・景気低迷の影響により、空調需要は依然厳しい状況。

フランス、スペイン、イタリアなどのEU主要国を中心に売上高は前年割れとなったが、トルコや中近東など新興国での事業拡大により、前年を上回った。

- ・住宅用は、7-8月の好天による販売回復に加え、3Q以降も販売店への訪問活動の強化により主要国での販売を伸ばしたが、需要減少の影響は大きく前年を下回った。

- ・業務用は、建築市場が低迷する中、EU諸国の販売は前年を下回ったが、トルコでのVRV販売が好調に推移したことなどにより、前年を上回った。

- ・暖房は、フランス・イギリスでの需要が落ち込んだが、中欧・イタリア・スペインなど周辺国での営業強化が奏功し、前年並みの販売となった。

< 欧州製品別販売状況(台数ベース) >

(前年比)	上期実績	1-3Q実績	年間計画(11月公表)	
			需要	当社計画
住宅用	93%	94%	89%	102%
業務用	SKY	101%	102%	111%
	VRV	103%	100%	116%
暖房	96%	101%	88%	110%
アプライド	94%	94%	95%	95%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン
 ※VRV・・・ビル用マルチエアコン
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

■ 部門別業績の概況 - 中国空調



中国

- ・大型不動産物件や新築物件の市況が悪化。大都市部を中心に空調需要は依然厳しい状況。都市部郊外や地方都市など、需要が堅調に拡大している市場や、小売向けの販売に注力し、増収を維持した。
- ・業務用では、大型物件の減少によりVRVの需要拡大が鈍化したが、市場特性を捉えた販売店開発の継続や、小売向け商品の投入などにより、販売は前年を上回った。
- ・住宅用は、ルームエアコンの需要が低迷する中、販売網拡大と新商品の投入により、インバーター普及機を中心に販売を伸ばした。
- ・アプライドは、需要が横ばいに推移する中、チラーやファンコイルユニットの販売が拡大。サービス事業も伸長した。

< 中国製品別販売状況(台数ベース) >

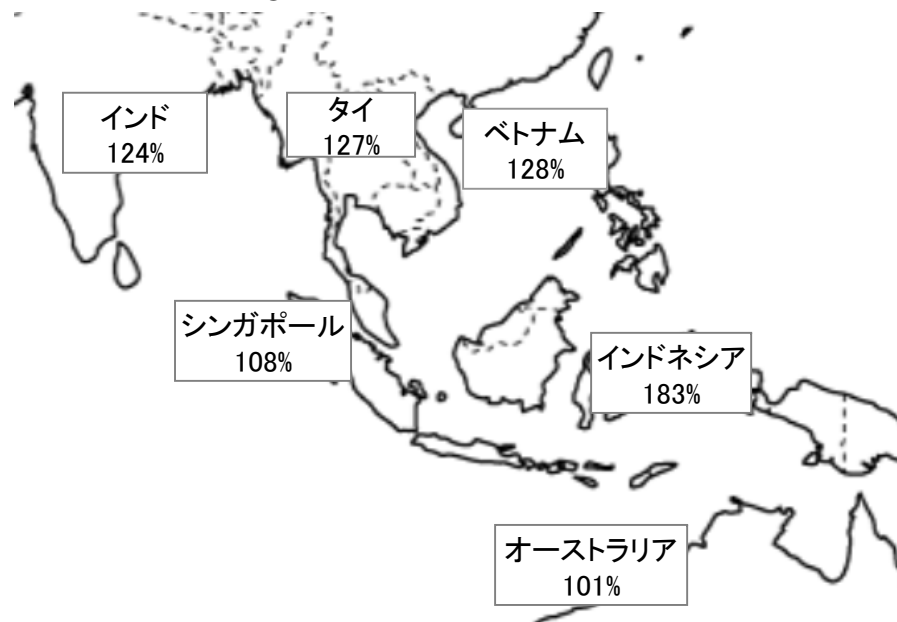
(前年比)	上期実績	1-3Q実績	年間計画(11月公表)	
			需要	当社計画
住宅用	115%	113%	88%	119%
業務用	SKY	140%	93%	134%
	VRV	100%	97%	100%
アプライド	111%	110%	109%	111%

※SKY…中小型パッケージエアコン
 ※VRV…ビル用マルチエアコン
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

アジア・オセアニア

- ・オーストラリアでは、天候不順の影響などもあり販売は前年並みとなったが、タイをはじめインド・ベトナム・インドネシアなどの新興国で住宅用の販売が拡大、アジア・オセアニア地域全体の売上高は前年を上回った。
- ・タイは、洪水の復興需要や好天を背景に販売が好調に推移した上期に続き、10月以降も好調に推移し、住宅用・業務用ともに伸長。
- ・インド・ベトナムでは、販売店開発・育成を進めたことにより、販売拡大とシェアアップを達成。

＜主な国の1-3Q売上高前年比(現地通貨ベース)＞



■ 部門別業績の概況 - 米州空調



米州

- ・アプライドは、需要が横ばいに留まる中、省エネ製品(空冷チラーなど)の拡販やサービス事業の拡大により売上高は前年を上回った。
- ・ダクトレス(住宅用・業務用)は、VRVの販売は上期の官公庁向け需要減少の影響で伸びが鈍化したが、住宅用・中小規模店舗向けの販売店の開発が進み、販売を伸ばした。

<米州製品別販売状況(台数ベース)>

(前年比)	上期実績	1-3Q実績	年間計画(11月公表)	
			需要	当社計画
住宅用	147%	151%	110%	165%
業務用	SKY	248%	109%	216%
	VRV	108%	123%	126%
アプライド	107%	103%	102%	106%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン
※VRV・・・ビル用マルチエアコン
※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

■部門別業績の概況 - 化学事業



- ・半導体・液晶関連市場の悪化、中国でのインフラ投資抑制や欧州向け輸出の減少などグローバルで需要が低迷。
- ・用途開発の推進による拡販に加え、市況軟化を取り込んだコストダウン、更なる固定費削減に努めたが、冷媒ガスを中心に売価ダウン影響が大きく、前年比減収減益。
- ・化成品は、オプツール(表面防汚コーティング剤)の販売が伸長したが、撥水撥油剤の中国・アジアの衣料向け需要や半導体・液晶関連が低調で、売上高は前年並みに留まった。
- ・フッ素樹脂は、米国LAN電線市場や欧州での拡販に努めたが、国内・アジアの半導体分野の販売減に加え、中国での需要鈍化の影響を受け、売上高は前年を下回った。

<フッ素化学製品の販売状況(売上高ベース)>

(前年比)	上期実績	1-3Q実績	年間計画(11月公表)	
			需要	当社計画
全フッ素化学品	91%	89%	84%	94%
ガス	53%	56%	68%	65%
樹脂ゴム	99%	92%	87%	96%
化成品ほか	101%	100%	—	103%

< 設備投資、減価償却費、研究開発費 >

	2011年度実績		2012年度	
(億円)	第1-3Q	年間	第1-3Q実績	年間計画 (11月公表)
設備投資	312	483	405	580
減価償却費	280	384	285	390
研究開発費	255	330	253	330

○ Goodman社の買収について

買収手続き完了	2012年11月1日(米国現地時間)
買収総額	37億米ドル 〔 取得の対価 22億米ドル Goodman社の借入の借換 15億米ドル 〕
のれん代	22.4億米ドル／20年間均等償却 ※暫定的に算定した金額
資金調達 (80円/US\$換算)	①国際協力銀行(JBIC)の「円高対応緊急ファシリティ」 の活用【25億米ドル(2,000億円)】 (JBICより15億米ドルの借入、民間銀行3行より10億米ドル相当の円借入) ②社債発行【500億円】 ③民間金融機関からの借入【550億円】

○ 当社第3四半期B/SへのGoodman社連結による影響

総資産：約4,250億円 ネットデット：約1,300億円 ※ネットデット=有利子負債-現預金

○ 当社連結決算への反映スケジュール

B/Sは2012年度3Qより、P/Lは2013年度1Qより連結。
Goodman社の決算期は、13年度より3月末決算に変更予定。



ダイキン工業株式会社

予測に関する注意事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い致します。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。